

今後の建築基準制度において検討いただきたい施策について

一般社団法人日本建築士事務所協会連合会

	目指すべき将来像	現状の課題	検討いただきたい施策
既存住宅・建築物対策	○中古住宅市場の活性化に対応して、消費者が安心して購入することのできる環境の形成 ○良質な住宅建築ストック形成による市街地環境の維持 ○住宅建築ストックにおける省エネ対策の普及	○中古住宅に係る消費者トラブルの多発 ○建築基準等に関して見識の乏しい者による違法な改築、リフォームの発生 ○省エネリフォームが進まない現状 ○立地と築年数のみで不動産価値が決定され、建物本来の価値が考慮されない	○不動産取引業界、地方移住・定住促進施策などとの連携による、インスペクションのさらなる普及 ○買主が求めた場合のインスペクションの実施義務化 ○改築、リフォーム等における建築士の関与範囲の拡大 ○不動産取引時の建物性能の表示義務化 ○住宅建築ストックの省エネ性能の把握（省エネ診断）及び省エネ改修工事の促進
木造振興	○木造住宅・建築物が建ち並び、人と環境にやさしい市街地環境の形成 ○多様な材料、工法を許容することによる、建築技術の発展と次世代に向けて継承すべき良好なストックの形成	○厳しい防火規定によるコスト増と、木のぬくもりの減失 ○構造計算を必要とするなどの技術的ハードルの存在 ○木造に関して積極的に取り組む建築士事務所が少ない ○リアルタイムの木材調達が困難	○燃えしろ設計の合理化、仕様基準の対象拡大など、木造関係規定の充実 ○木造に関する建築士事務所の取り組み支援の強化 ○使用木材の品質確保にかかる技術開発
担い手支援	○クリエイティブな業務へのシフトによる建築士の職業としての魅力向上とジョブマーケットにおける競争力の強化 ○人材不足が続く建築設計業界における働き方改革の実現 ○消費者との対話ツールの充実による、消費者の満足度の向上	○図面整合性、法適合性のチェックなどの単純作業が大きな負担となっている ○省エネ計算やLCCの算出など、ますます高度化、多様化する設計段階でのデータ処理 ○IT技術の導入において、とりわけBIMにかかるコストの高止まり	○フリーソフトなど BIM 導入に関するソフト面での社会インフラの整備 ○社会貢献や業務エフォートへの適切な報酬水準を支える社会システムの構築 ○現況調査など、ITによる設計付帯業務の合理化にかかる技術開発 ○AI の活用にかかる将来像の共有